



つくしんぼ



あけましておめでとうございます

<絵本をご寄贈頂き ありがとうございました>

12月8日(水)に埼玉ゴム工業株式会社より40冊の本をご寄贈頂きました。

埼玉ゴム工業株式会社が60周年を迎えた時からクリスマスプレゼントとしていただいております。今年で25回目となります。誠にありがとうございます。

ふれあいホームでは、おはなし会の時間を設けており、親子で絵本に親しんでいます。図書コーナーでは子ども達が楽しそうに絵本を出して、絵本に触れています。貸し出しもしておりますので、どうぞ親子で気に入った絵本をご利用下さい。



子育てワンポイント～子育ての根っこにこだわろう編～

虐待はいけないことだけど、虐待してしまいそうになる気持ちは良く分かる

愛泉寮主任 相澤郁夫

これは、私がドキリとした妻の発言でした。その場でうまく言葉を返せなかったことをよく覚えています。私は愛泉寮で児童養護に携わって14年になります。妻も児童養護施設で心理士として勤務していました。経験も知識もあり普段、娘とは理性的に関わっていた様子でしたので、私が仕事で不在の間は安心して任せられると思っていました。よくよく考えると、私の考える安心が「できて当然」「できて当たり前」というメッセージとして伝わってしまっていたのでは、そして、それが「困っている」というSOSを出しづらくさせてしまっていたのでは、と反省しました。

虐待で入所をする数々のケースの家庭状況を紐解くと、ほとんどの保護者が適切な相談場所を確保できなかった、または周囲を信用できずに関わりをはねつけてしまった背景が浮かび上がってきます。地域のご家庭でも、虐待には至らずとも感情の整理ができずに苦しんでいる親御さんは想像以上に多いのではないのでしょうか。

子どもの安心と親の安心はとても強い繋がりががあると思います。周りは感謝やねぎらいを言葉で伝え、親は「当たり前だから」「そういうものだから」と苦しまずに「大変なんだ」「つらいこともあるんだよ」と言いやすい社会になることを願っています。

【子育て相談】(月曜日～金曜日 9:00～16:00)

子育てで悩んでいることはありませんか?ご一緒に考えていきましょう。お気軽にお電話ください。

電話0480-62-2990(子育て支援センター愛の泉ふれあいホーム)





「最後の運動会」

愛泉幼稚園保護者 綾部篤子

ウチには、平和組(5歳児)と睦組(3歳児)の娘が居ます。今年もコロナの影響で、いろんな規制のもとでの運動会となりました。睦組が終わったらダッシュで入れ替えに帰ってバタバタでしたが、実施と観覧が出来て良かったと思います。

通常だったら親子競技や先生の参加競技もあったり、お昼を一緒に食べたりとても賑やかな運動会ですが、本当に勿体ないです。でも、子どもたちも先生も本番に向けて毎日練習をしていました。「今日は、組体操の練習をしたんだよ」とか「かけっこをやったよ」など、二人の運動会に対しての意欲がとっても感じられました。

前日には「明日は一本橋成功するといいな」と、何回も練習しているのになかなか決まらなかった様子でした。そして当日、まずはかけっこです。一人でビデオとカメラを操りながら、上手く撮れないやと苦戦していると娘が1番でゴールしていました。意外な展開にとっても嬉しかったです。そして障害物競走、これも1位でビックリしました。綱引きと玉入れは皆で力を合わせて一生懸命頑張りました。

いよいよ一本橋の決まらなかった組体操です。通常だったらここはハンカチ無しでは見られない競技だけど、今年はどうだろうかと思ひながら始まりました。BGMが流れ、青木先生の掛け声に皆大きな声で「はい」と答え、青木先生の吹く笛に大きな声で「やー」と次々に成功させていきました。そして、最後の一本橋です。一番緊張したのは子どもたちだったと思います。青木先生の笛が「ピッ、ピッ…」と進み「ピピーッ」と鳴ると、子どもたちが「やー」とキメの時です。結果は大成功で、子どもたちも先生も笑顔で私も嬉しくなり、涙がこぼれそうになりました。後で「大成功だったじゃん」と言うと、とっても嬉しそうに「うん」と娘も満足そうでした。

規模が縮小されても子どもたちの練習の成果が発揮出来、成長を感じることも出来て本当に良かったと思います。実施してくれた先生方に感謝したいと思います。ありがとうございました。



「親心」



ふれあいホーム利用者 今村菜摘

0歳だった息子とふれあいホームに遊びに行くようになり、1年が経ちました。現在1歳10ヶ月、3度のご飯と電車が大好きな男の子です。

1歳を迎えた頃から人見知りと甘えん坊に拍車がかかり、どこへ行くにも何をすることも、片時も私から離れることが出来なかった為、大変手を焼いていました。ふれあいホームで遊んでいても、私がちょっとでも離れたり、先生やママたちとお喋りをしようとする、この世の終わりのかのように泣き出し、1秒足りとも離れる隙を与えてはくれません。ふれあいホームで過ごす時間の半分以上を抱っこしたままという日も多々あり、いつになったら私から離れて遊べるようになるのだろうかよく頭を悩ませていました。

そんな息子も、月日を重ねるうちに段々と私から離れて遊べるようになり、最近ではふれあいホームの先生方と楽しそうに遊んだり、ちょっと目を離した際に1人ですべり台を逆走していたりと、数ヶ月前の姿からは想像が出来ない程に、親の元から離れて過ごせるようになりました。離れた場所からその様子を見て「成長したなあ」と喜びを感じると共にいずれは息子も、思春期や反抗期を経て自立し、親元を本当に離れて行く日がくるのかなと思いを馳せ、ちょっぴり寂しい気持ちにもなりました。

それでも、まだまだ甘えん坊な息子です。日課のお散歩へ行く時、一緒に横になって寝る時、ぎゅっと私の手を握ってくる姿はとても愛おしく、当分の間はこうして、私の手を握って甘えて欲しいと思うものです。息子と手を握り過ごせる時間を、これからも大切にしていきたいです。



この本大好き

『わらう』(白泉社)

作：さこももみ

楽しくてわらう、わらうと楽しい。
わらうとつられてみんながわらうね。
明日もたくさんわらえるといいな。

(どんぐりころころ 真部佳代子)



ふれあいボエム

保育士の髪の毛をモミモミしながら、
A子「かゆいところはありませんか〜？」
入浴時にママがやってくれたり、今度はママ
にやってあげたり。心もあつたりますね。

(5歳 女兒)

* お正月 *

<お節の意味>

お節には、「その一年が良いものであるように」という願いから、多くの縁起物が料理として並びます。

黒豆には「まめに働き、まめに暮らせるように」という「無病息災」の意味が込められ、栗きんとんには、「金銀財宝」という「金運、商売繁盛」の意味が込められています。

煮干しの佃煮である田作りは、かつてカタクチイワシを田の肥やしとして利用したところ、その年の米が豊作であったことから「五穀豊穡」を示す食べ物になりました。

ニシンの卵で作られる数の子は「子宝に恵まれるように」との願いから「子孫繁栄」の意味を持ち、たたきごぼうはまっすぐ長く伸びるごぼうの性質から「長寿、家業継続」を意味します。

その他にも、学業成就を祈願する「伊達巻」や紅白で魔除け、浄化の意味を持つ「紅白かまぼこ」などお節にはあらゆる出来事がうまくいくようにと願いが込められているのです。

<雑煮の意味>

雑煮は地域によって具材が大きく異なる行事食です。一説によると、雑煮に入れる餅は、鏡餅に宿った年神様の力をもらうためのものと言われ、年神様にお供えした鏡餅を切り分けて調理します。また、雑煮に入れる餅には角餅と丸餅があり、東日本では、角餅の醤油ベースに澄まし汁が多く、西日本では丸餅に白味噌といった傾向が見られます。

なお、お餅以外の他の具材は、一般的にはその地域の特産品を使うことが多いようです。

<七草粥の意味>

1月7日には、七草粥がふるまわれますが、このお粥には春の七草がふんだんに使われています。それぞれの七草に邪気を払い万病を防ぐ意味があり、現在はおせち料理で疲れた胃を休める意味で食されることも多いようです。

<おしるこの意味>

1月11日のおしるこの日には、お正月に飾っていた鏡餅を割り入れます。雑煮と同じく、お迎えした神様の力が宿った鏡餅を食べる事で1年の活力を得るという意味を持ちます。

お正月以外にも、1年の間に行事食を食べる機会が複数あるため、食育として楽しむだけではなく、行事食にはどのような意味があるのか、どのような願い・思いが込められているのかを理解して、日本の文化や伝統をより身近に感じましょう。

<余ったお節をリメイクしちゃおう！>

海鮮→海鮮のうま味を活かして茶碗蒸し

筑前煮→味が染みてるので、チーズをのせて和風ドリア

かずのこ→いろんなパスタに合う！クリーム・バター醤油・ペペロンチーノ

黒豆→ホットケーキ MIX を混ぜて焼いてパンケーキ

なます→胡瓜を足してゴマ油で中華風サラダ

栗きんとん→丸めてゴマを付けて揚げればゴマ団子

色々試してみてください♪